

2026年4月1日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

自己免疫性肺胞蛋白症の線維化リスク因子を探索する
多施設共同コホート研究

研究の概要

【背景】肺胞蛋白症は、肺のなかに異常なたんぱく質が溜まってしまう病気です。現在、吸入薬や洗浄療法が治療として行われていますが、肺の線維化を起こしてしまうと、芳しくない経過をたどることが知られています。しかし、どのような方が肺の線維化を起こしてしまうのかはまだ明らかになっていません。

【目的】この研究では、肺胞蛋白症において、どのような特徴を持った方に肺の線維化が起きやすいのか、を明らかにすることを目的にしています。

【意義】この研究により、肺の線維化の発症リスク因子や、病状進行因子の同定に寄与する可能性があります。

【方法】肺胞蛋白症に対する GM-CSF 吸入の多施設共同医師主導治験（PAGE 試験）に参加された患者さんの、PAGE 試験期間中およびその後の診療情報を収集し肺の線維化を評価します。また PAGE 試験で保存していた血清を利用してバイオマーカー（病気の状態を示す指標）を探索します。

対象となる患者さん

2016～2017年に「肺胞蛋白症に対する GM-CSF 吸入の多施設共同医師主導治験（PAGE 試験）」に参加された自己免疫性肺胞蛋白症の患者さん

研究に用いる試料・情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 年齢、性別、合併症、生活背景、肺胞蛋白症に関する経過や治療の情報
- 血液検査、動脈血液ガス検査
- 画像検査、呼吸機能検査、6分間歩行試験
- 病気の症状に関するアンケート

●研究に用いる試料

- 2016年～2017年に実施したPAGE試験で保存していた血清

本研究で利用する試料・情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への試料・情報の提供について	
<p>本研究に用いる試料・情報は代表機関へバイオマーカー探索のため集められます。</p> <p>提供先：千葉大学医学部附属病院呼吸器内科</p> <p>提供方法：資料・情報ともに匿名化を行います。試料は凍結状態で送付します。情報は電子ファイルで送付します。</p>	
試料・情報の利用開始予定日／提供開始予定日	
<p>本研究は2026年5月21日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。</p> <p>あなたの試料・情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2029年3月31日	
研究実施体制	
長崎大学病院における 研究責任者	<p>所属：長崎大学病院 呼吸器内科</p> <p>氏名：石本 裕士</p> <p>住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1</p> <p>電話：095(819)7273</p>
研究代表機関 研究代表者	<p>機関名：千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科</p> <p>氏名：鈴木 拓児</p> <p>住所：千葉県 千葉市 中央区亥鼻1-8-1</p> <p>電話：043(222)7171</p>
共同研究機関／研究責任者	<p>この研究は研究代表機関を中心に全国12機関で実施します。詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	
<p>【研究の内容、試料・情報等の利用停止／他機関への提供停止の申し出について】</p> <p>長崎大学病院 呼吸器内科 石本 裕士</p> <p>〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号</p> <p>電話：095(819)7273 FAX 095(849)7285</p>	
<p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095(819)7200</p> <p>受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>	